

山梨大学医学部附属病院 **[地域医療連携だより]**

パートナー

2026
vol.31

令和8年10月発行



臨床工学部

[特集] 診療科・部門のご紹介

麻酔科／病理診断科／臨床研究連携推進部／臨床工学部

山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

麻酔科

Anesthesiology

安全な外科手術を支えるためには、質の高い麻酔管理が必要不可欠です。当院では年間約7,400件の手術を実施しており、そのうち約5,300件を麻酔科が管理しています。いず

れも増加傾向にあり、県内唯一の特定機能病院として数多くの高難度外科手術に対し、安全で質の高い麻酔管理の提供に努めています。

麻酔科の術前外来では、患者さんが安心して手術に臨むことができるよう、良好な周術期管理を実施しています。また最近では、産婦人科医師と協力し、社会的ニーズの高い無痛分娩を開始しました。

当科には麻酔科専門医のみならず、ペインクリニック専門医や緩和ケア専門医などが在籍し、痛みに悩む患者さん

に、最先端かつ集学的な疼痛治療を提供しています。脊椎手術後や複合性局所疼痛症候群などの強い疼痛に対しては、脊髄刺激療法 (Spinal Cord Stimulation: SCS) を実施しています。また、難治性がん疼痛に対しては、腹腔神経叢ブロックなどの特殊治療を行っており、県内各地の医療機関から治療を必要とする患者さんを広く受け入れています。

私たちは手術室内外で幅広く活動するとともに、病院組織において診療科横断的に各種診療を支援する重要な責務を担っています。



病理診断科

Diagnostic Patholog

確かな診断を安心の治療へつなぐ ―病理診断科の使命―

病理診断科は、患者さんから採取された組織や細胞を顕微鏡で観察し、病気の確定診断を担う診療科です。特にがん診療では、

良悪性の判定や組織型、進行度の評価に加え、免疫組織化学や遺伝子・分子病理学的検査を組み合わせ、治療方針の決定に必要な情報を提供しています。

当院では、病理診断科と病理部が連携して診断業務を行っています。年間実績は、組織診断約8,000件、細胞診断約6,000件、術中迅速診断約600件にのぼります。組織診断は病理専門医によるダブルチェック、細胞診断は細胞検査士に

よるスクリーニングと細胞診専門医による判定を行い、診断精度の確保に努めています。

また、希少例や診断困難例については病理カンファレンスで検討し、必要に応じて外部専門家へのコンサルテーションを行っています。病理診断は、単に「病名をつける」だけでなく、確かな診断を安心の治療へつなぐ重要な役割を担っています。地域の先生方に信頼される病理診断を提供し、山梨県の医療を支える「診断のかなめ」として、今後も病理診断の質の向上に取り組んでまいります。



臨床研究 連携推進部

CTMO
(Clinical Trial Management Office)

臨床研究連携推進部は、山梨大学病院における未来の医療の実現に向けて、医師をはじめとする医療従事者や研究者による医療開発を支援するために設立されました。

当院における治験を推進するため、医師や企業の方々への治験支援を行うとともに、医療従事者や研究者による医学研究の支援、新規医薬品や医療機器などの開発研究および臨床研究の推進、また、教育・研修の実施および情報発信に取り組んでいます。さらに、総合大学としての利点を活かし、融合研究臨床応用センターと協力体制を構築して、分野を超えた融合研究の推進・支援に努めています。

近年、医学研究の進展により、さまざまな医療技術の開発や展開が進んでおり、アカデミア、特に大学病院の果たす役割は以前にも増しています。疾患の病態解明や新たな診断、治療法の開発は、患者さんご家族の明るい未来につながるものです。すべての医学研究や臨床試験は、患者さんからのご理解、ご協力のもと、研究や試験に参加していただく方を第一に考えて計画・実施されることが求められます。

臨床研究連携推進部は、この理念に基づき、当院における新たな医療の開発支援に取り組んでいます。



臨床工学部

Department of
Clinical Engineering

近年、医療機器は目覚ましい進歩を遂げ、医療現場を支える重要な役割を担っています。なかでも、人工透析装置、人工呼吸器、人工心肺装置などの生命維持管理装置は、患者さんの生命を支える高度な医療機器です。

臨床工学部では、医療機器の

スペシャリストである臨床工学技士が、医学と工学の知識を活かしながら、安全かつ最適な医療の提供に貢献しています。主な業務は、生命維持管理装置の操作および管理であり、併せて医療機器全般の保守点検や安全管理も担っています。さらに、院内スタッフへの教育や技術支援を通じ、安全で質の高い医療環境の維持に努めています。

活動領域としては、血液浄化、人工呼吸、体外循環、手術室、集中治療室、血管造影室、不整脈関連、医療機器管理の8分野をローテーションで担当し、医師や看護師など多職種と連携しながら24時間体制で業務を行っています。

今後も地域医療を支える一員として、臨床工学技士の専門知識と技術を活かし、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。



セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主 催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第86回 山梨県眼科集談会	山梨大学医学部眼科学講座 他 共催	2026年11月14日	甲府記念日ホテル	内線 2372

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表)へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

かかりつけ医との連携による 継続的な医療提供

当院は特定機能病院として高度・専門的医療および急性期医療を担っています。病状が安定した患者さんについては、地域のかかりつけ医の先生方へ逆紹介を推進し、継続的な診療をお願いしております。

病状の変化や専門的な検査・治療が必要となった際には、改めて紹介状をご持参のうえ当院を受診いただき、地域の医療機関と連携しながら切れ目のない医療の提供に努めてまいります。



病院運営基金に対するご支援のお願い

当院では、開院40周年を機に「医学部附属病院運営基金」を設立しました。皆様からお寄せいただいた寄附金は、患者さんに安全で質の高い医療の提供、療養環境の充実、医療人材の育成、先進的な臨床研究の推進などに活用いたします。

今後も県内唯一の大学病院として地域医療の発展に貢献し、県民の皆様の健康を支えてまいります。地域の皆様からのご支援は、山梨県の医療を未来へつなぐ大きな力となります。何卒、本基金へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳しい寄附方法は運営基金特設ページをご覧ください。

山梨大学医学部 附属病院運営基金 特設ページ

<https://kifu.med.yamanashi.ac.jp/page/unei1/>

【お問い合わせ先】

経理管理課

総務・予算・資産グループ

TEL: 055-273-9239

(受付時間：平日 9:00～17:00)

E-mail:

kanrika-kifu@yamanashi.ac.jp



病院の理念

すべての患者さんに「安心」を

基本方針

当院は、高度医療の中核として、患者さんに安全で最適な医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人の育成と臨床医学の発展に貢献します。